

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

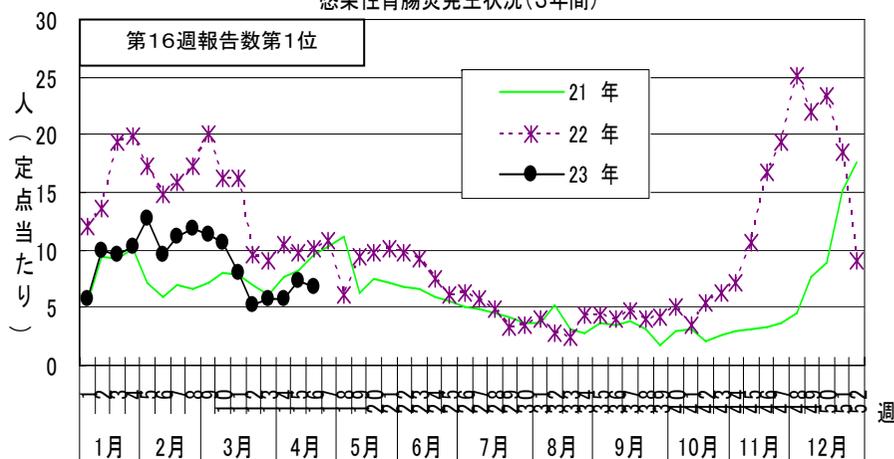
平成23年4月18日（月）～4月24日（日）〔平成23年第16週〕の感染症発生状況

第16週で定点報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

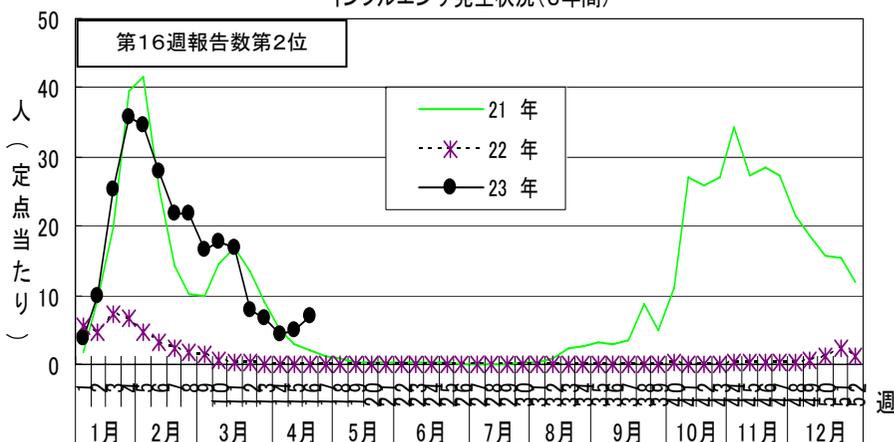
感染性胃腸炎は定点当たり6.88人と前週（7.25）より患者報告数は減少し、例年を下回る推移となっています。

インフルエンザは定点当たり6.87人と前週（5.08）より患者報告数が増加し、前週に引き続き、過去10年間の同時期と比較すると最も多い報告数となっています。例年であれば、患者がほとんどいない時期に患者数が増加しているため、感染予防・まん延防止対策の徹底が引き続き重要です。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



～海外旅行で気をつけたい感染症（動物編）～

もうすぐゴールデンウィークがやってきます。この長期休暇を利用して海外旅行を計画している方に注意していただきたいポイント（「食べ物編」と「動物編」）を御紹介します。前週は「食べ物編」でしたので、今週は「動物編」を御紹介します。海外の動物は、日本での発生がない感染症の原因となるウイルスなどを持っている可能性がありますので注意が必要です。

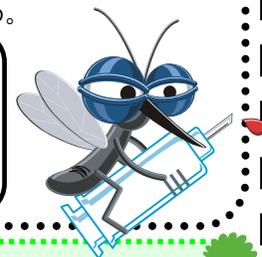
海外で感染症にかからないために、感染症に対する正しい知識を身につけましょう。動物からうつる病気には、**狂犬病・鳥インフルエンザ（インフルエンザH5N1等）・デング熱・マラリア**などがあります。一般的な注意点を次に記載しますので海外旅行等での参考としてください。

- ①**狂犬病**：野生動物にはむやみに手を出さない。犬や猫などをむやみに触らない。（噛みつかれると危険です！）
- ②**鳥インフルエンザ**：流行地では鳥に不用意に触らず、また近寄らないようにしましょう。旅行先での手洗い・うがいも大切な対策です。
- ③**デング熱・マラリア**：蚊に刺されることによって感染します。流行地に旅行する際には、長袖の服の着用や防虫スプレーを使用して蚊に刺されないようにしましょう。

流行地でこれらの動物に接触した場合は、速く医療機関を受診し、治療を受けましょう。



今年もエジプトやインドネシアなどで鳥インフルエンザ(H5N1)の人への感染事例が報告されています。鳥インフルエンザ(H5N1)は、病原性の高いウイルス感染症ですので注意しましょう。



麻疹患者が増加しています！！

東京都（特に23区の南西部）及び神奈川県において、第15週から麻疹患者が増加しています。麻疹は非常に感染力が強く、空気感染のほか、飛沫感染や接触感染など様々な経路で感染します。麻疹ウイルスの直径は非常に小さく、飛沫核の状態では空中を浮遊し、それを吸い込むことで感染しますので、マスクでの予防は難しくなります。最も効果的な予防方法は、ワクチン接種によって麻疹に対する免疫をあらかじめ獲得しておくことです。早めに麻疹(MRワクチン)の予防接種を検討しましょう。

